

ロシア

伊]

月日

- 2 24
- 25
- 25
- 28
- 28
- 3 1
- 3
- 3
- 4
- ?
- 5
- 7
- 12
- 13
- 13
- 14
- 14
- 15
- 15
- 16
- 16
- 16
- 17
- 18
- 19
- 19
- 21
- 21
- 23
- 28
- 28
- 28
- 28
- 29
- 29
- 30
- 30
- 31
- 31
- 4 1
- 2
- 3
- 4
- 11
- 12
- 12
- 13
- 14
- 16
- 16

18
18
19
20
20
20
22
22
22
22
23
24
24
25
27

『とウクライナ間の停戦交渉の経過(2022年2月24日～4月28日)

東孝之

事件(人物、発言、場所、出来事など)

開戦

ゼレンスキーがロシア側に停戦交渉を申し入れる。中立的地位を目指す、同時にウクライナの安全保証を要求。ロシアが停戦交渉に応じる。ただし交渉中も攻撃は続行

①停戦交渉。ベラルーリ、プリピャチ河地域で。アレストヴィチ:停戦+すべてのロシア軍のウクライナ領からの撤退
プーチンの講和条件: 女主人証の刀野にロシアのロシアの利益を無条件に尊重する、ソクリンに対するロシアの土権を認め、ウクライナ同盟を非軍事化する、非ナチ化の課題を決定する、中立的地位を担保する

ゼレンスキーの停戦条件:爆撃の停止

アラハミヤ:ウクライナ側の停戦交渉最小限綱領は人道的回廊

②停戦交渉。ペロヴェジャ原始林で

ゼレンスキー(ロリヂニミル)

メハバジツ(ボグダノフ)大統領は停戦交渉を拒否。ロシア側の提案は①専断的、②武器の撤去、③

アレストヴィチ:ロシア側が最近非ナチ化を言わなくなった

③停戦交渉。ベラルーシのブレスト州(正確な場所は秘匿)

交渉は今度オンライン方式で。

独仏はプーチンに停戦を呼びかけたが、反応なし

ポドリャク:交渉は作業グループレベルで、ノンストップで続いている

FT報道:はじめての主体停戦。ロシア側はNATO加盟を断念、代償として同盟国から安全の保証、ロシア軍の撤退を得る。ウクライナ側は同盟国の軍事基地、武器を断念する。クリミア、ドニエプルについては未定

④停戦交渉。10:30ー、オンラインで。相違点が表面化。ウクライナ側が講和、即時停戦、ロシア軍の引き揚げを要

ポドリャク:妥協の余地はある。交渉は続く

ペスコフ:講和交渉の結果は予想したくない

FT報道。15項目。ウクライナはNATO加盟を断念、代償として同盟国から安全の保証、ロシア軍の撤退を得る。

ポドリャク:停戦は間近

アブラモヴィッチが停戦交渉再開のためイスタンブルを訪れる

ペスコフ:停戦交渉の進展はない。ロシアは国連司法裁の命令を受けない

ポドリャクはロシア側の交渉団長メジンスキーを称賛、ラヴロフを酷評

ラヴロフ:戦争は和平交渉の調印を以て終了

ポドリャク:和平交渉は数週間かかるおそれがある

⑤停戦交渉(オンライン)、1時間半で終了、作業グループが引き継ぐ

ゼレンスキー:講和条約を国民投票にかける。メジンスキーも原則同意

マクロンがプーチンに電話、停戦について合意できなかった

エルドアンがプーチンと電話会談。停戦を呼びかけ

FT報道:ロシア側は非ナチ化、非軍事化、ロシア語の地位という要求をドロップ

ペスコフ:イスタンブルのあとで首脳会談が行われる見通しはない

Times:アブラモヴィッチがゼレンスキー文書をプーチンに渡す

ゼレンスキー:信頼の基礎が見えないので停戦交渉は難しい

⑥停戦交渉(外交交渉)、イスタンブル。安全保証国案、ドンバスを両首脳間協議、クリミアを15年間先延ばし、キ

アラハミヤ:ロシア側がウクライナの「降伏条約」を準備していたことを明かす。

メジンスキー:ウクライナ側はロシア側の基本的な要求を実行する用意を示した

プーチンがイタリア首相に停戦までにはまだ時間がかかると述べる

メジンスキーがロシア国内で批判を浴び、ボディガードを必要とすることを明かす

アラハミヤ:停戦交渉をオンラインで再開。1週間かけて両大統領の会見を準備する

ゼレンスキーが米国に安全保証国になることを要請、ワシントンは考慮中と回答

ゼレンスキー:講和条約について話さず、ロシアの講和交渉は終わる。しかし、成功するかどうかはわからない。女主人証

アラハミヤ:クリミア問題について15年間凍結提案

ラヴロフ:停戦交渉は継続されている、戦闘行動と並行して、休みなしに。

プーチン、停戦交渉は袋小路に

ポドリャク、交渉は続いているが、難しくなる

アラハミヤ、引き続きオンライン方式で交渉

プーチン:まず文書を用意するべきだ

ゼレンスキー:講和条約について話さず、ロシアの講和交渉は終わる。しかし、女主人証の体制について話さずとも異なる理解を小。ノアア手
性が影響する。ノアアの可憐さを自認している。講和交渉中止。ノアアの小ノアアの争い後、講和交渉は衣
小敗に落ちた。

エルドアンが停戦交渉の停滞を認める

ペスコフ、ウクライナ側が譲歩しない

西側9ヶ国とNATO、EUがウクライナへの安全保証についてオンライン協議

⑦**停戦交渉**(オンライン)(21日まで)。しかし、ラヴロフが突然交渉中断を発表。おそらくプーチンがいかなる交渉
ペスコフ:ウ側に「文書」を渡した。

ゼレンスキー:露側から停戦に関する提案文書を受けとっていない。

ゼレンスキー:マリウポリの住民皆殺し、住民投票があるなら講和交渉中止

陰で交渉が続く。ウクライナ側の主張は非同盟、中立、国際社会による安全保証の提供

ゼレンスキー:ロシア側が復活祭停戦を拒否

ポドリャク:ウクライナのための安全保証交渉は1週間で終わる見込み。

ゼレンスキーがトルコのエルドアンと中立の安全保証について電話会談を行った。

FTの報道ではプーチンは停戦交渉への関心を失い、領土奪取に専念している。

プーチンが「ウクライナは1ヶ月前の交渉のめく立物を奪った。戦争終結についてウクライナへの保証国の同意」が

「保証国の多数の同意」へ

プーチンがクリミア問題とドンバス問題の解決なしに安全保証を与えることを拒否